

●**数学の目標**

- ①数量や図形などの基礎的な概念や原理・法則を理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。
- ②数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- ③数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。

●**評価の観点**

①**数学的な知識・技能**

数量や図形などについての基礎的な考え方を理解するとともに、数学的に表現・処理することができる。

②**数学的な思考・判断・表現**

数学を活用して事象を論理的に考え、数量や図形の性質を発展的にとらえ、事象を的確に表現することができる。

③**主体的に学習に取り組む態度**

数学のよさを実感し、粘り強く考え、数学を生活や学習に活用しようとしている。

●**おもな評価方法**

①**授業中の取組、意欲、態度**

発表、発言、挙手や授業に臨む姿勢から評価します。

②**ノート（プリント）**

黒板に書いたことは基本的にすべて書きましょう。

③**定期テストや小テスト**

数学的な知識・技能や思考・判断・表現などを見ます。

④**宿題や提出物**

期限内にしっかりと取り組み、提出をする。

●**授業の受け方・学習の進め方**

- ①先生や発言者の話をよく聞き、授業に集中し、今日学習したことは、今日中に理解する。
- ②忘れ物をしない。宿題は必ず行う。
- ③分からないところはそのままにしない。
- ④学び合い学習を充実する。

●**学習のねらい**

	学習する単元	ねらい
1 学 期	正の数・負の数	正の数や負の数について具体的な場面での活動を通して理解し、その四則計算ができるようにする。
	文字の式	文字を用いて関係や法則を敷きに表現したり、式の意味を読み取ったりする能力を培うとともに、文字を用いた式の計算ができるようにする。
2 学 期	方程式	方程式について理解し、一元一次方程式を用いることができるようにする。
	変化と対応	具体的な事柄の中にある二つの数量の変化や対応を調べることを通して、比例、反比例の関係を見だし考察する能力を伸ばす。
3 学 期	平面図形	基本的な図形を見通しをもって作図する能力を伸ばすとともに、平面図形についての理解を深める。
	空間図形	図形を観察、操作や実験を通して考察し、空間図形についての理解を深める。また、図形の計量についての能力を伸ばす。
	データの活用	調べたい事柄について目的に応じた資料を収集し、整理し、物事を判断したり説明したりする能力を伸ばす。

●数学の目標

- ①数量や図形などの基礎的な概念や原理・法則を理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。
- ②数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- ③数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。

●評価の観点

①数学的な知識・技能

数量や図形などについての基礎的な考え方を理解するとともに、数学的に表現・処理することができる。

②数学的な思考・判断・表現

数学を活用して事象を論理的に考え、数量や図形の性質を発展的にとらえ、事象を的確に表現することができる。

③主体的に学習に取り組む態度

数学のよさを実感し、粘り強く考え、数学を生活や学習に活用しようとしている。

●おもな評価方法

①授業中の取組、意欲、態度

発表、発言、挙手や授業に臨む姿勢から評価します。

②ノート（プリント）

黒板に書いたことは基本的にすべて書きましょう。

③定期テストや小テスト

数学的な知識・技能や思考・判断・表現などを見ます。

④宿題や提出物

期限内にしっかりと取り組み、提出をする。

●授業の受け方・学習の進め方

- ①先生や発言者の話をよく聞き、授業に集中し、今日学習したことは、今日中に理解する。
- ②忘れ物をしない。宿題は必ず行う。
- ③分からないところはそのままにしない。
- ④学び合い学習を充実する。

●学習のねらい

	学習する単元	ねらい
1 学 期	式の計算	事象の中に数量の関係を見出し、それを文字を用いた式に表現し活用する能力を伸ばす。また、文字を用いた式の四則計算ができるようにする。
	連立方程式	連立二元一次方程式について理解し、それを用いることができるようにする。
2 学 期	一次関数	具体的な事柄の中から二つの数量を取り出し、それらの変化や対応を調べることを通して一次関数について理解するとともに関数関係を見出し、表現し考察する能力を養う。
	図形の調べ方	観察、操作や実験を通して、基本的な平面図形の性質を見出し、平行線の性質を基にして、それらを確かめることができる。
3 学 期	図形の性質と証明	平面図形の性質を三角形の合同条件などを基にして確かめ、論理的に考察する能力を養う。
	場合の数と確率	具体的な事柄についての観察や実験を通して、確率について理解する。
	箱ひげ図とデータの活用	四分位範囲や箱ひげ図より統計的な手法を学び考察する力を養う。

●数学の目標

- ①数量や図形などの基礎的な概念や原理・法則を理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。
- ②数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- ③数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。

●評価の観点

①数学的な知識・技能

数量や図形などについての基礎的な考え方を理解するとともに、数学的に表現・処理することができる。

②数学的な思考・判断・表現

数学を活用して事象を論理的に考え、数量や図形の性質を発展的にとらえ、事象を的確に表現することができる。

③主体的に学習に取り組む態度

数学のよさを実感し、粘り強く考え、数学を生活や学習に活用しようとしている。

●おもな評価方法

①授業中の取組、意欲、態度

発表、発言、挙手や授業に臨む姿勢から評価します。

②ノート（プリント）

黒板に書いたことは基本的にすべて書きましょう。

③定期テストや小テスト

数学的な知識・技能や思考・判断・表現などを見ます。

④宿題や提出物

期限内にしっかりと取り組み、提出をする。

●授業の受け方・学習の進め方

- ①先生や発言者の話をよく聞き、授業に集中し、今日学習したことは、今日中に理解する。
- ②忘れ物をしない。宿題は必ず行う。
- ③分からないところはそのままにしない。
- ④学び合い学習を充実する。

●学習のねらい

	学習する単元	ねらい
1 学 期	式の展開と 因数分解	文字を用いた簡単な多項式について式の展開や因数分解ができるようにするとともに、目的に応じて式を変形できる。
	平方根	正の数の平方根について理解し、それを用いることができるようにする。
	二次方程式	二次方程式について理解し、それを用いることができるようにする。
2 学 期	関数 $y = ax^2$	具体的な事柄の中から二つの数量を取り出し、それらの変化や対応を調べることを通して、関数 $y = ax^2$ について理解するとともに、関数関係を見出し、表現し考察する能力を伸ばす。
	図形と相似	図形の性質を三角形の相似条件を基にして確かめ、論理的に考察し、表現する能力を伸ばす。
	円の性質	円周角の定理など、円の性質について理解し、それを用いることができるようにする。
3 学 期	三平方の定理	三平方の定理について理解し、それを用いることができるようにする。
	標本調査と データの活用	調査の方法について理解できるようにする。